「スポーツ心理学研究」投稿の手引き

（2026.10.17　改訂版）

1. 論文本体の原稿書式は，A4 判縦置き横書きで 882 字詰を目安とする（42 字×21 行：本誌 1 頁 1 段 の分量）．本誌に準拠した版組原稿書式も受け付ける．
2. 投稿時の原稿（全種類）の分量は，25 頁以内を推奨し，30 頁を上限とする．※ただし，図表は別途１頁に１点ずつレイアウトするため，図表頁を含めて原稿枚数が 30 頁を超えることは構いません．
3. 原稿は，日本スポーツ心理学会ウェブサイト「論文投稿」ページ内のオンライン投稿システムより送付する。論文原稿，英文抄録校閲証明書，および必要に応じて図表をアップロードする．
4. オンライン投稿システムにて論文投稿倫理チェックリストに回答し，1）論文種別，2）題目（和英），3）ランニングタイトル（日本語 20 字以内，英語論文の場合は英語 40 字 以内），4）英文要約， 5）題目に含まれない５項目以内の英語キーワード，6）著者情報（和英）等を入力する．
   1） 英文要約は，目的・方法・結果・結論を 200 語以内で簡明に記す．
   2） 題目，英文要約，キーワードについて英文校閲を受け，投稿時にその証明書をアップロードする（会社名，署名など）．学術用語については投稿者が責任を持つこととする．
5. 論文本体の構成は，原則として，序，方法，結果，考察，結論，文献，注・脚注，図表，写真とする．
6. 論文は常用漢字，現代かな表記とし，論理的で簡明な表現にする．句読点は「，」「．」とする．
7. 欧文表記は外国人名・地名に限り，カタカナ表記は十分日本語化したものに限る．
8. 数字は半角算用数字とし，計量単位は国際単位系(SI)に準拠する．
9. 統計記号（平均*M*，標準偏差*SD*，*p*値，*F*値，*t*値など）はイタリック体にて表記する．また，数字と単位の間には半角スペースを入れる．
10. 略語は一般用法に従い，必要に応じて初出時に説明する．
11. 図表・写真は１頁１枚とし，説明は表題下に記す．大きさは刷り上がり頁を考慮して作成する．挿入箇所は本文中に＜図１挿入＞，あるいは，欄外に図 1 などと記入する．

12. 注・脚注は，表題，所属機関の補足説明，謝辞，内容説明に限る．ただし，著者情報に関わるものは受理後印刷原稿に付加する．
13. 本文中の文献引用は，著者姓・出版年形式とする．文献表は著者姓のアルファベット順，出版年順に一括する．
14. 審査員が要修正事項や照会事項を指摘しやすくし，また著者が修正対応表(回答コメント)で修正・対応箇所を明示するために，本文および文献表の左側に行番号(ページごとに振り直し)を付加する．
15. その他の文献表記などの形式は，和文英文とも「体育学研究」に準ずる（https://taiiku-gakkai.or.jp/ から「体育学研究」を参照）．ただし，英文雑誌名については略記せず完全誌名を表記する．
    例：Yamamoto, Y., and Gohara, K. (2000) Continuous hitting movements modeled from the perspective of dynamical systems with temporal input. Human Movement Science, 19(3): 341-371.
16. 論文の作成にあたっては，「日本スポーツ心理学会倫理綱領」を遵守するとともに，所属機関等で の倫理委員会の承認，協力者へのインフォームドコンセント，同意書の記載など，実際に配慮した点を論文中に明記する．
17. 抜刷は，著者が印刷会社に発注する．

（補 足）

1. 問い合わせ先
   E-mail：submit@jssp.jp　編集委員長：小谷克彦（北海道教育大学）
2. 電子ファイル形式
   1) ファイルのアップロードは，PDF，Microsoft-Word，Microsoft-Excelなど対応可能である．
   2) 原稿の参考書式（Microsoft-Word）は，学会ウェブサイトからダウンロードできる．

（注：本規定は，第54巻第1号掲載論文より適用する）

「スポーツ心理学研究」編集規定

（2026.10.17　総会改正）

1. スポーツ心理学研究（以後，本誌）は，日本スポーツ心理学会（以後，本学会）の機関誌である．
2. 本誌の編集は，本学会編集委員会（以後，本委員会）が行う．
3. 投稿者は，本学会会員および本委員会が認めた者とする．
4. 本誌の論文は，スポーツ心理学に関する未公刊論文とする．
5. 論文の種類は，原著論文，資料論文，実践論文，展望とする．
   1) 原著論文は，新しい知見を含む実証的または理論的な論文である．
   2) 資料論文は，諸研究の追試や新開発の内容などを含む資料的価値の高い論文である．
   3) 実践論文は，スポーツの実践や指導を通して得られた実用的価値の高い論文である．
   4) 展望は，諸研究を深く検討し，総合的評価と指針を与える論文である．
6. 論文審査は，本委員会が適任者に審査を依頼し，その判定を審議して掲載を決定する．
   1) 審査は，審査者名を伏せて行い，公刊時に審査者の一覧を掲載する．
   2) 審査基準は，いずれの種類もスポーツ心理学として社会に貢献できる意義のあるものとする．
   3) 掲載可論文には，申請に応じて掲載証明書を発行する．
7. 本誌には，広報として，本学会会務報告ほか会員に必要な情報を掲載する．
8. 本誌掲載論文の著作権は本学会に帰属する．論文を転載する場合には，本委員会の許可を得る必要がある．
9. 投稿時の原稿の分量は，いずれも刷り上がり25頁以内を推奨し，30頁を上限とする．

（注：本規定は，第54巻第1号掲載論文より適用する）